

# にいはお

中国語を学ぶ会

平成14年11月発行 第15号

連絡先 0463-33-3177

神山 FAX 32-5594

かわいそうな英国娘の身の上に何が起きたので  
しょうか。 前号の続編です。請うご期待！

## 可怜的英国年轻姑娘(续编)

星期三班 落合一正

接着前一期把可怜的英国年轻姑娘的话介绍一下吧。在她身上发生了悲痛的事儿是这样。在很短和简单的信上她写着：“我赶紧向你报告为什么这么很长时间才给你写信呢。恐怕你觉得很奇怪。请看附寄剪报的报道你就可能理解了。我不必再写。那是本地报纸的一片剪报。我希望你能了解我长久给你没写信的理由。我很久以来丧失能力还是没力气拿起钢笔写字。望你们夫妻要多保重。”

看完了就不知不觉地从眼上滴下泪来了，我重振精神看起了剪报来。报上的小标题说“Christina 重建被破坏的青春时期人生”。22岁，从 Hope Valley(希望山谷)来的 ME 患病者正在支持国家的运动通知人民了解关于破坏性极大的疾病。她一直患 ME 差不多五个月。我看完信和剪报后，告诉老婆她为什么这么长时间没写信还是她的病况所至。我看完剪报时开头不明白“ME”意味着什么，是什么词的缩写。报纸接着说“ME”——也以慢性的疲劳症候群知名——在英国侵袭估计 25,000 年轻人。看到这疾病的概况已经完全了解了，其意可是我更想知道“ME”是什么词的开头字母。我查几本各种的英和辞典，可是怎么查一般的辞典都找不到。我想起来刚买的电子辞典里有牛津英英辞典，即刻试试查“ME”，有了，有了。终于找到了那个词。我彻底理解了。“ME”就是“筋痛性脑脊髓炎”的开头字母。(请看参考)。按照那本辞典的说明，ME 由于病毒的感染发生，特别年轻女人很多，平常伴随头痛，肌肉痛，极度的疲劳感等。

## かわいそうな英国娘(続き)

前号に引き続きかわいそうな英国娘の話を続けます。彼女の身の上に降りかかった悲しいことはこうゆう事で、ごく手短かに事情が書いてあった。「長らくご無沙汰した訳を取り急ぎお知らせします。不思議に思っておられたことでしょう。同封した新聞の切抜きを見て頂けば事情がすぐお分かり頂けます。私はあえて書きません。それは当地方紙の切抜きです。長らくご無沙汰した理由が分かって頂けるよう切望しております。私は長いことずっとペンを持つ力も気力もなくしてしまいました。お体お大事に。」

読み終えると思わず涙が目に滲んできた。私は気を取り直して切り抜きを見た。新聞の小見出しにこう書いてあった。「クリスティーナ打ち拉がれた若い人生を立て直す。22歳、ホープバリー出身の ME 患者が自分がかかった致命的な酷い病気について国の広報活動を支援。彼女は発病して5ヶ月になる。」手紙と切り抜きを読み終え、彼女が長いこと手紙をよこさなかった理由と病状を妻に話した。切り抜きを読み終えた時、先ず ME が何を意味するのか、何の略語なのか分からなかった。更に新聞の伝えるところによると、ME は——慢性的疲労症候群としても知られ——英国で推計 2 万 5 千人の若者が冒されている。ここまで読むと病気の概況は分かったが ME は何の省略なのか、頭文字なのか更にしりたくなかった。数冊の英和辞典をひいたが普通の辞書にはいくらひいても見当たらなかった。買ったばかりの電子辞典にオックスフォード英英辞典が入っているのを思い出し、早速 ME を引いてみた、あった、あった。とうとうその語が見つかり納得できた。ME は筋痛性脳脊髄炎(文末、参考を参照)の頭文字だった。辞典によると ME はビールの感染で発病し、特に若い女性に多く、ふつう頭痛、筋肉痛、極度の疲労感などを伴う。

(次ぎのページに続きます)

当然马上我要写慰问信使她尽快振奋起来最好吧。以后一直她也没我来信，所以我有点儿不安。今年一月中旬我们以慰问品用包裹寄了丝绸织的和服。一月末她父亲给我来了回信，一边儿对慰问品道谢，一边儿报告女儿的病况。信里说病况还是老样子，可是有一点儿好转的兆头。后来她也依然没亲笔回信。过了一年多今年八月才给我来了信，她信很简单并短极了。把内容介绍一下吧，“感谢上一次的信。我仍旧不好，太夫禁止我写信，因为写信使我健康不佳的。我只希望你理解我一直绝不会忘记你们。我想你尽可能快要给我信。只能写到这儿了。谢谢你，请替我向夫人问好。再见。”

我只祈求她快点儿恢复健康。

参考 ME 筋痛性脳脊髄炎  
myalgic 筋肉痛  
encephalomyelitis 脳脊髄炎

## あなたは今の勉強法で満足していますか？

あなたは何のために中国語を勉強しているのですか？

教養として・書籍・新聞や漢詩が読めるようになりたいから……立派な目的ですね。中には、ただ何となく、或いはボケ防止のためになどと答える人もいません。

しかし、「話せるようになりたい」という願望のない人はいないのではないかと思います。

現在私たちは、文章を読み、新出単語の意味を理解し、文の内容を日本語に翻訳するという「翻訳型」勉強法をとっています。私はこの「翻訳型」を否定する気持ちは全くありません。これも大切な勉強法の一つですが、ただこの方法だけを続けていては3年たっても5年たっても「話すこと・聞くこと」ができるようにはならないと言いつけることができます。なぜならば、それは実績が証明しているからです。

今、巷に溢れている英会話教室や通信教育は「コミュニケーション型」つまり会話ができるようになることを目的としている

当然のことながらすぐに手紙を出して彼女を元気づけた。その後彼女からずつと手紙が来なかったの、少々不安になった。今年一月中旬見舞いに絹の和服を送った。一月末父親から手紙が来、着物のお礼と彼女の病状が書いてあった。病状は相変わらずだが少しは好転の兆しが見られる。その後彼女の直筆の返事はなかった。一年がすぎ久しぶりに彼女から手紙が来た。至って簡単で短かった。「この前のお手紙ありがとう。私は相変わらず好くありません。手紙を書く体によくないので医師から禁止されています。私はあなたの方のことをずっと忘れたことはありません。早くお便り下さい。もうこれ以上書けません。ありがとう、奥さんによろしく。」

彼女の早い回復を祈るばかり。

のが大半です。

そこで提案があります。毎回の勉強時間の内、半分か三分の一を「コミュニケーション型」に変えてみてはどうかということです。もしご賛同の方が多かったら各班でどんな方法が良いかを相談してみてもうでしょうか。

その方法はいろいろありますが、始めは簡単なものが良いでしょう。先生から身近な事についての質問を受け、それに答えるとか、こんなことは中国語ではどう言うのだろうか？を自分なりに考えてそれを先生に直してもらおう等。或いは各班でなにかテーマを決めてそれに関することを知ってる限りの中国語を使って表現し話し合うなど……。知らなくて当然、間違ったり前、とにかくなにか話して見るのが大切だと思います。

そうすれば何時の日か中国へ行った時の買物・ホテルやレストランできっと役に立ちますよ。百里の道も一歩から、思いきって「翻訳型」から一歩足を踏み出してみませんか。

## 若山先生の子供時代の思い出

若山先生は子供のころ、養父母と一緒に河北省の秦皇島に住んでいました。そのころの四合院での生活を懐かしく思い出しながらこの文を書いて下さいました。

思い返しますと、私たちも子供のころはとても貧しい生活をしていました。食べ物も十分でなかったし、着る物も質素、娯楽や遊びも乏しい中でそれなりに満ち足りた日々を送っていたような気がいたします。

それは人と人との関係が濃密だったからではないでしょうか。他人を思いやる心、親切で温かい心遣いがあったからだと思います。

なお、「四合院」については別ページの「四合院と胡同」を参照してください。訳文は内容をかいつまんで書いてみましたので参考程度に読んでいただいて、あとはご自分で翻訳してみてください。

### 怀念「炊烟」重现

我小时候住过的院子，离我渐渐地远去了，惟有小院儿那弥漫的炊烟，仍时常飘拂在我的眼前。

那是一处老院子，在城的东南面。到了夏天，家里太热，院子里9户人家都在自家的窗下盘一个灶火做饭。做饭的时候，满院子烟气腾腾。

我记得炊烟最浓的时候，是点着火的那阵子。待到烟气散尽了，饭也做好了。大家端着碗在院子里吃饭，赶上吃炸糕和饺子，便要挨家挨户地送。也许是一块儿做饭和吃饭带来亲情，整个夏日小院是温馨的。

院子里遇上红、白事，自家的灶火做饭就不够了，这时一般都要借灶，借谁家的灶火，谁家还要跟着忙活。我记得办婚事，结婚的前一天叫催妆，晚上肯定要吃面条的，说是吃面条可以天长地久。一般这天晚上的这顿饭全院的人就在一起吃，用三个灶火同时煮面才能供得上。天黑了，厨师忙着准备第二天的宴席。孩子们围在灶火台前看，大锅里煮着大块大块的肉，远远地就闻到了香气，直馋得孩子们淌口水，大人叫了好久才回家睡觉。

现在，老院子少了，新楼房多了，同院做饭的事也远去了。近年来，我注意到一个新的词汇：社区，不少社区活动和文化火火红红、热热闹闹。是呀！群居，是人类不可更改的属性。在信息社会的今天，人们不会仅仅满足于上网遨游，内心深处仍渴望着人与人之间的关切和温情。于是，漫游于社区的温情，在我眼中悄悄升腾，就像昔日的炊烟，我企盼它越来越浓。

### 懐かしいかまどの煙

私が子供の頃住んでいた四合院の中庭、そこにはいつもかまどの煙がたちこめていた情景がまぶたに浮かぶだけで、今はもう私から次第に遠ざかっていってしまった。夏になると家の中がとても熱くなるのでここに住む人たちはそれぞれ軒下にかまどを作って料理をしていた。食事時には煙がもうもうと立ち昇る。その煙が納まる頃にはご飯が炊き上がる。それぞれが茶碗を持って庭で食事をすする。そして隣近所へ揚げ餅や餃子を配り歩いたものだ。

みんなで一緒に食事をするのでお互いの親しさを増し暖かい感情が生まれてくるのかも知れない。

ここで結婚式や葬式があると家のかまどだけでは足りないので借りることになる。結婚式があった時のことを憶えている。お祝いの品を送り、その晩は四合院の人たちが、うどんのように長くいつまでも変わりが無いようにとの思いをこめて一緒にうどんを食べる。

暗くなると、明日の宴の準備で忙しくなる。子供たちは大鍋で肉を煮ているかまどを取り囲みその香りをかいでよだれをたらす。今では古い四合院が少なくなり新しいビルが増え、庭で食事をしたことなどは遠い昔の話になってしまった。数年来、私は社区（地域社会）という言葉に注目している。多くの社会活動が盛んになっている。人が集まって生活することは変えるこの出来ない人間の特性なのだ。情報化社会の今日でも人々は思いやりや気遣いを求めている。昔のかまどの煙のように、それらがますます濃密になることを待ち望んでいる。

## 四合院と胡同

四合院は中国北方の伝統的な建築様式の民家で、中央に庭を囲み、東西南北の四方に四棟の家屋を対照的に配置した閉鎖的な構造の屋敷です。

ここに住む住人の社会的な地位や貴賤によってその造りも様々で、高官や富商の住む四合院は豪華であるが一般庶民の小さな四合院は構造も単純で門は狭く壁も低い。

こうした大小さまざまな軒を接して連なる四合院の間を走っている通路、と言うより路地が胡同なのである。

北京には元・明・清の三代の王朝期に形成された何千筋もの胡同が張り巡らされていた。胡同は皇宮付近の東と西側に集中し、そこにはもっぱら皇族や貴族たちが住み、皇宮から少し離れたところには質素な胡同が並び、商人や庶民が住んでいた。

王朝の交替や世の変遷を経て、清代も末期になると、外来文化の影響を受け、胡同の構造もその画一的な形態を打ち破られた。そうして整然とした統一性は失われ胡同の文化も隆盛から衰退へと転じていくことになる。

民国時代、中国社会はきわめて不安定な状態となり、打ち続く内戦、度重なる外侵によって北京市の環境も荒れるに任せ、胡同は荒廃の一途をたどり、もともと一家族で住んでいた四合院のほとんどは複数の所帯が雑居する「雑院」へと変わっていった。

その後、十年にわたる「文化大革命」によって、おびただしい数の胡同の貴重な歴史・文化遺産が人為的破壊を蒙った。そしてここ数十年の改革解放は北京にも大きな変化をもたらし、多くの胡同がブルドーザーに押し潰されモダンな現代建築がそれに取って代わり、住民も次々に新築のビルに移って行った。とはいえ、胡同は今もなお北

京市内に脈々と生き続けている。

私は去る九月訪中の際、北京の中心北海公園近くの胡同を訪ねる機会を得た。

観光用の輪タクに乗り、人影も少ないひっそりとした胡同に入ると、両側は灰色のレンガ造りの家並みが続く。道幅は三メートルくらい、ときおり通る自転車とすれ違うのがやっとなんて珍しいですね。私も十月に富士ICから白糸の滝、朝霧高原・河口湖・山中湖と富士山を一周してきましたが、やっぱりこの辺から見る姿が一番美しいと思いました。簡単な訳文をつけましたが、辞典を引きながら完璧な翻訳に挑戦してみてください。

観光用の輪タクに降り、胡同を歩いてみた。くすんだ平屋建ての家が曲がりくねった胡同の両側に建ち並ぶ。

途中で、とあるご家庭を訪問することになった。ここは庶民の住む四合院だ。狭い門を入ると中庭がある。中庭といっても名ばかりでわずかにヘチマ（幼果を食用にするらしい）が一本植えられているだけだ。せまい玄関を入るとすぐ応接間、八畳くらいの広さだろうか、客を迎えたと言うのにその家の奥さんは電気も点けずに薄暗い中で家族のことや生活ぶりなどを話してくれた。

北京政府も、この伝統ある胡同と四合院を保存する為、保護地区を設けているようだ。

近くの鐘楼の上から見下ろすと、この一帯の保存地区は雑然とした家並みが密集し、もし災害でも発生したら大変なことになるだろう。文化財を保護保存するという事はここに生活する人たちの犠牲なくしては成立しないのである。



## 李先生の富士山への思い

あの均整のとれた美しい富士山、日本人なら誰でも憧れる日本一の山ですが、中国人である李先生のお父さんがその写真を応接間に飾ったなんて珍しいですね。私も十月に富士ICから白糸の滝、朝霧高原・河口湖・山中湖と富士山を一周してきましたが、やっぱりこの辺から見る姿が一番美しいと思いました。簡単な訳文をつけましたが、辞典を引きながら完璧な翻訳に挑戦してみてください。

### 富士情缘

多年来、富士山在我心里一直是神奇遥远，可望又不可及的。来日本之前，正逢家里乔迁新居。父亲特意买了一幅富士山的巨幅照片装饰在客厅里。照片上，在蓝天白云和盛开的樱花的映衬下，银装素裹的富士山十分清秀迷人。那时看着照片我就想，此去日本，可以亲眼一睹富士山了。

刚到日本，最初的日子是艰辛的，语言上的困难，学业上的压力，让我们每天忙碌不堪。在那些日子里，富士山对我来说是一个不远不近的梦。

三年后丈夫博士毕业，因为工作的关系，我们迁至到平冢市来居住，觉得离富士山这个梦近了许多。前年的金秋，也是我们刚到平冢市的头一个月，我们全家迫不及待地去圆这个藏了很久的梦。

我们早早地在箱根预约了可以看见富士山的温泉旅馆，可是那几天天公不作美，那几天每天不是下雨就是多云多雾，富士山始终被笼罩在浓浓的云雾之中，没有露面。今年的黄金周，我们全家再一次踏上了去看富士山之路，这次天公也作美，天气好极了。儿子一下车，就大声喊起来：富士山！富士山！果然，富士山就在眼前！啊，真漂亮！湛蓝的天空里一丝云彩都没有，山顶上的皑皑白雪，在阳光的照耀下闪闪亮亮，富士山屹立于群山之首，接受着阳光的沐浴，褐色的山体是他博大的胸怀，浑厚温暖、宽广有力……

这时的富士山，比家里客厅里那照片上的更生动，更美，令人深深感动。难怪日本人以富士山为自豪，它柔美又刚毅，正是大和民族的象征。它给人以震撼和感染，让所有生活在日本土地上的人们为之所动，和它结下不解的情缘。

### 富士山との縁

富士山はずっと前から私にとって神秘的で手の届かない存在だった。日本に来る前に引越しをした。その時、父はわざわざ富士山の大きな写真を買って応接間に飾りつけた。写真には青い空と白い雲、満開の桜そして真っ白な雪を頂いた富士山はとても美しく魅力的だった。写真を見て日本へ行けばこの目で見る事が出来るんだと思った。

日本へ来た当時は、言葉の問題、勉強でのプレッシャーなどで耐えられないような毎日だった。だからその頃は私にとって富士山は余り関心がなかった。

三年後、夫が博士課程を修了し、仕事の関係で平塚に引っ越してきて富士山への夢が限りなく近いものとなった。おとしの秋、私たちは長い間の夢に矢も盾もたまらず富士山に行く事になり、富士山の良く見える箱根の温泉旅館を予約した。しかし天の神様は無情にも毎日が曇り、富士山はずっと雲の中で姿を現さなかった。

今年のゴールデンウィーク私たち一家は又もや富士山へと向かった。今度はすばらしい天気恵まれた。息子は車を降りるや「富士山だ！富士山だ！」と大声で叫んだ。なんと富士山は目の前、本当に美しい！紺碧の空には一筋の雲も無く、山頂の真っ白な雪が太陽に照らされてきらきらと輝き、富士山は周囲の山々を見下ろして聳え立ち、太陽の光を受けた褐色の山体はその広く大きな度量と重厚なぬくもり、そしてゆったりとした力強さ……

このときの富士山は、応接間の写真に較べてより生き生きとして美しく、深く感動させられた。なるほど、富士山は日本人の誇りであり、かつ優美であり剛毅、まさに大和民族のシンボリック的存在である。

富士山は人々に畏れ驚きと影響を与え、日本に住むすべての人を感動させ、富士山と離れられない深い縁を結ばせるのである。

# 中国消息

「大家知道吗？」 蜂屋和男

## 第二子中国認める

中国政府は8月31日「一人っ子政策」を緩和し、第二子出産も認めるとした「人口計画生育法」を9月1日から施行すると発表。「二人目容認」を法制度上初めて保証することで、高齢化の進行に歯止めをかける狙いだ。労働力確保から複数の子供の出産を認めてきた農村に対し、都市部では厳格な「一人っ子政策」が展開されてきた。第二子出産が今後広がれば、将来の人口構成がいびつになるのも避けられると期待されている。

## 万里の長城 1キロ幅丸ごと盗む

中国河北省張家口市内にある「万里の長城」が長さ1キロにわたり、石壁ごと持ち去られていることが専門家の調査で判明。中国を代表する文化遺産である万里の長城の大規模な盗難は珍しい。長城を構成する石材すべてが持ち去られて、現場には車のタイヤの跡が残っていることから、何者かが集団で住宅修理や道路工事のために石材を持ち去ったらしい。

## 砂漠化進む中国

年々深刻化する黄砂現象の原因となっている砂漠化したのは国土の25.6%に当たる246万平方キロ。

さらに毎年、ほぼ鳥取県に相当する3000平方キロが新たに砂漠化している。大規模な砂漠防止の道のりは険しそうです。

## 台湾で進む“蒋外し”

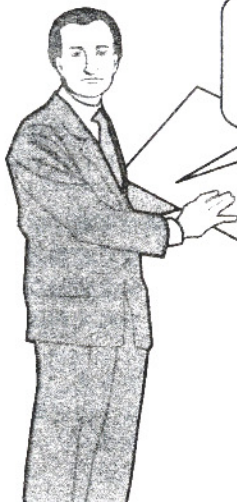
記者会見場に掲げられてきた蒋介石、蔣経国両元総統の肖像写真が取り外された。内政部が両氏の肖像写真を役所や学校などの公的機関が掲示しなければならないとした規定を撤廃したからの措置。他の機関も相次いで撤去。今後は国父・孫文と現職総統のものだけが飾られる。理由は、「社会環境の変化と実際の求めに応じた措置」と説明している。一方、蒋介石とともに大陸から台湾に渡った外省人(大陸出身者)の多い軍では、これまで通り蔣親子の写真を掲げる意志を示している。罰則規定はない。

先生方のご寄稿と、会員の皆さんのお蔭でどうやら「にいはお第15号」を発行することができました。

いつもながら、ご寄稿が少ないため編集に頭を痛めています。どんなことでも構いません、日ごろ考えていること・見たこと・聞いたこと或いはご意見やご希望など、別に中国や中国語に関係ないことでも結構です。短い文章も大歓迎！

たくさんの方の寄稿によって「にいはお」を盛り立ててください。お願いいたします。次号の原稿締め切りは1月末ごろです、今から準備を始めましょう。今度は期待してますヨ——。

みなさん！  
原稿を出してください。



## 日中邦交正常化30周年記念交流式典参加と 山西省の世界遺産を訪ねる旅

山西省には太古からの歴史と、当時の面影を今に残す貴重な文化遺産がたくさん残されているのに交通の便に恵まれないため観光の面では立ち遅れている。

今度の旅も、北京から高速公路で4時間余り走って石家荘に一泊、さらに5時間あまりを費やしてやっと平遥に到着したような次第だ。

平遥は明代(1370年頃)の城壁が完全な形で残されている中国唯一の古い街で周囲6キロの城壁に囲まれた城内に入ると明清時代にタイムスリップしたような気分させられる歴史の街だ。

平遥から省都太原市までは2時間、次の日は太原から五台山に向かう。

五台山は中国四大仏教名山の一つに数えられる聖山だ。周囲50キロの中に高く聳える五つの山があることからこう呼ばれ、その山中には北魏時代(500年頃)に創建された古刹を中心に多数の寺院が散在する。

翌日は大同市へと向かい、途中「懸空寺」を見学。中国五岳の一つ恒山の岩壁に横穴を穿ち、そこに差し込まれた横木に支えられて建つ寺院で、北魏時代(約1500年前)に建てられたものだ。名前の通り空に懸けられた寺と言える。

大同市郊外にある有名な「雲崗石窟」も素晴らしい。武周山の断崖を切り開いて築かれた石窟は北魏時代に開削されたもので、東西1キロにわたる石窟には53の洞窟の中に、数センチから高さ17mのものまで5万1千体の彫像が収められている。まさに世界に名だたる芸術の宝庫である。

大同から北京までは列車の旅となる。昼間だというのにグリーン寝台車(軟卧車)に乗せられ、4人のコンパートメントで仲間と酒を飲みながらの5時間余りはあっという間に過ぎてしまった。

北京では全聚徳で北京烤鴨の夕飯を食べてから、人民大会堂での日中両政府主催の記念式典に参加する。この模様はテレビのニュースで見た方も多いと思うが、江沢民主席や橋本元首相など両国政府要人をはじめとして、日本人1万3千人が参加する空前の大集会となった。

大会堂への入場は持ち物のX線検査とボディチェックを受け厳重そのもの、中国の国会議事堂への入場だからそれくらいの対応は致し方ないだろう。

翌日は、天安門広場・故宮・首都博物館・雍和宮など北京市内の観光だ。天安門広場では数日後に迫った国慶節の準備のため、花壇の整備が進められていた。天気は快晴、気温は30度もあったが木陰に入ると心地よい秋風が感じられた。

そして夜には又人民大会堂で日本各地の近ツリから参加した旅行者2000人による大晩餐会が催された。

各丸テーブルには日本語を学んでいる学生が一人ずつ配された。私のテーブルに来たのは北京兴华大学日語系の学生、彼女はまだ2年生だというのに流暢な日本語を話すのにはびっくり。それにひきかえ我が身を振り返って情けなさを感じた。彼女は卒業したら日本に留学したいと熱っぽく語っていた。

最後の日は「胡同めぐり」の観光だ。ここでの様子は「四合院と胡同」のページを読んで下さい。

今度の旅行は山西省の山中を走りまわるかなりの強行軍だったが、数々の仏教遺跡をつぶさに見ることが出来たし、今まで外からしか眺めることの出来なかった人民大会堂に入ることができたのは大きな収穫だった。ともあれ8日間の旅日記をどうやら枠内に収めることができた。 ああシンド！

# ひとやすみ

## 江沢民は語学の達人？

中国の国家主席江沢民氏は何ヶ国語を話せるのか？ 香港の星島日報によると英語、ロシア語に精通しているほか日本語、フランス語、ルーマニア語の書籍が読めるそう。

江主席の事務所ではワシントンポストなどの英字紙とロシア紙プラウダを定期購読しているという。

若い頃、旧ソ連の自動車工場で技術研修を受けたので、ロシア語は本場仕込み。それではなぜ日本語が？彼の語る所によれば「日本軍国主義に強いられて学んだ。好きでやっていたらもっと上手になっていただろう」と。

好きで中国語を学んでいる諸君、うかうかしていると江さんに負けてしまいますぞ。 加油！ 加油！

## ユニクロが上海にオープン

衣料品業界に旋風を巻き起こし一躍有名ブランド？になったあのユニクロが上海市内に2店舗が同時オープンしたそう。

場所は、おのぼりさん通りの南京東路と魯迅公園に近い四川北路。さて、その店名は「优衣库」yōu yī kù。なんとなくユニクロの音に似ているし、優れた衣料の庫「優衣庫」だなんてうまいネーミングだと思いませんか。デパートの2階フロア全部を占める南京東路店の広さは1000㎡、店内の商品ディスプレイやレジの周辺も日本と全く同じ。ただ違うのは襟元のロゴネームがないことだ。値段も日本とほぼ同じで、フリースが129元、ジーンズが169元。これは中国人にとって安いのだろうか高いのだろうか。

今後の展開に興味がありますね。

## 犬語翻訳機

我が家では数十年前からずっと犬を飼っている。子犬の内はその仕草が可愛いし、成犬となるとなついてきて、飼い主の言う事を理解したりして更に愛情がわいてくる。長い間飼っていると、犬の鳴き声で何を求めているのかが判ってくるようになる。

この、犬の気持ちを言葉にする犬語翻訳機が発売され大変な人気を呼んでいると言う。犬の首にマイクを着けて鳴き声を拾い人間の手元にある装置へと転送する。声紋を分析して液晶画面の上に言葉で表示すると言う仕掛けだ。

メーカーによると言い当てる確率は八～九割に達すると言う。愛犬の気持ちを理解してやりたいという思いも判らないではないが、それほどまでしてと言う気もしてくる。

それよりも、ヒヤリングに苦労している我々のために中国語翻訳機でも発明してくれた方が、よっぽど世のため人のため国際化のために役立つと思うのだが皆さんどう考えますか。

## ユリ・ゲラー

念力で視聴者宅の時計を止めてみせるというテレビを見たことはありませんか。

日本の人口1億2千万、1所帯平均3人として4千万所帯。視聴率20%で800万所帯がテレビを見ている。1所帯平均5個の時計があるとして全部で4千万個。電池寿命を500日程度、放送時間2時間とすると時間内に電池切れとなる時計は

$$4000万 \div 500 \div 12 = 6666 \text{ 個}$$

時計が止まった人の10%がスタジオに電話したとしても念力のすごさを印象付けることになるわけです。ところでこの計算は合ってますか？閑があったら計算してみてください。